

# 3月 はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和4年2月28日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」  
自ら学ぶ子・人とつながる子  
心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子  
<http://shinmaizuru.maizuru.ed.jp>



## 一年の締めくくり、次の学年に向けて

今年の冬は積雪量が多いという予報通り、何度も雪かきをしました。保護者の皆様や地域の皆様には、通学路の安全確保のため、除雪や登校指導など大変お世話になりました。一方、子どもたちは、休み時間になるとしっかり着込んで運動場に繰り出し、雪合戦をしたり、雪だるまをつくったりと雪を満喫していました。

新型コロナウイルス感染拡大の第6波は、子どもたちにも容赦なく襲い掛かり、本校でも連日のように子どもたちの感染が確認されています。この間、保護者の皆様には、日々、新型コロナウイルス感染に係る連絡や感染の拡大防止の観点からの自宅待機など、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。また、臨時休校や学年閉鎖・学級閉鎖の際には、ご理解いただき、ありがとうございました。休み中の健康観察にもご回答いただき、助けていただいています。今後も日々、子どもたちの状況を把握しながら感染防止の対策を取っていきます。よろしく願いいたします。

さて、今年度は、学校現場にとって大きな変革の年でした。4月から1人1台のタブレット端末が配備され、ICTの活用が格段に進むこととなりました。今や、子どもたちは毎日タブレットを持ち、様々な授業や活動にどんどん活用しています。誰もが生き生きと進んで使い、素敵なものを作り上げる子どもたちの姿は、1年前の私の予想をはるかに超えるものです。

生活科や理科の観察で写真を撮り、気になるところを拡大して見ることで発見をしたり、実験の様子を撮って結果から考察をしたり、国語や算数で友達と考えを交流したりすることはもちろん、6年生では、自分たちが伝えたいことを、調べたりやってみたりしたことを交えながら1本の動画にまとめ、タイトルや効果音、BGM、字幕なども付けて発表することまでできます。他の学年でも、タブレットを持ち歩いて目当てのものを探し、撮影し、話を聞いてまとめるという子どもたちの姿を見ることができます。アンケートを作って友達に答えてもらったり、1人1問問題を作って学級全員の分の問題を解き合ったりなど、手軽にお互いの成果物を共有できるというICTを活用するよさを感じながら、学習に取り組むこともあります。実際に顔を合わせて話したり聞いたりすること、手を動かして書いたり作ったりすることの大切さと合わせて、子どもたちが自ら学び、探究し、創造し、発信することができるよう、私たちは子どもたちの成長を支えていきたいと思えます。



変革はまだ始まったばかり。気を付けていかなければならない課題もあります。10年後、20年後、子どもたちが社会を支える一人になるときにしっかり力が発揮できるように、子どもたちが主体的に学び考える力、多様な人とつながる力、新たな価値を生み出す力を付けるべく、指導・支援をしていきたいと思えます。

いよいよ3月。一年の締めくくりとなりました。次の学年に進級、進学するための基礎となる力をしっかりとつけていきたいと思えます。保護者の皆様、地域の皆様には、今後ともご理解、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

校長 小森昌子